

第 1 3 回水資源機構契約監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 2 3 年 7 月 2 8 日 (木) 本社会議室	
委員	田中俊充 (弁護士) 矢橋農吾 (大学名誉教授) 西谷隆亘 (大学名誉教授)	
審議対象	<p>1 .平成 23 年度第 1 四半期における 1 者応札・1 者応募に関する点検について</p> <p>2 .平成 23 年度第 1 四半期における随意契約に関する点検について</p>	
1 .平成 23 年度第 1 四半期における 1 者応札・1 者応募に関する点検についての審議	委員	機構事務局
	・16 番の「デジタルカラー電子複写機賃貸及び保守業務」の落札率が低いが、1 者応札でもこれだけ低くしてきたということは、競争したらもっと下がるということか。	・電子複写機の賃貸保守は通常は複数応札が見込まれる案件です。複数年度のリース契約であり、毎月の保守料金が得られるため、機器の方は割とディスカウントして納入されるケースが見られ、落札率が比較的低くなりやすい案件です。
	・価格設定の方を変えなければいけないということか。それとも過去の事例から見て今回が特殊ということか。	・機器のリース部分の価格設定は価格表が出ているものもあり、大きすぎる決定をしているとは言えない状況です。普通は複数応札があるもので、競争性があるという判断をして入札されたという考え方もありますので、価格設定が著しく大きいとは一概には言いにくいと思います。また、全て同じ機種ではないことやメーカーの割引率も異なりますので、どれくらいの割引率を見込むかは非常に難しい状況ではあります。
	・ただ 1 者応札の確認等だけではなく、元の価格設定が何かに反映されるようでないという議論が生きてこないと思う。	・過去の事例を調べ、もしかしますとディスカウント率をある程度統一してもつことも考えられるので工夫はしてみたいです。
	・ただいま出た意見を今後の 1 者応札対策の参考にしていただきたい。	

第 1 3 回水資源機構契約監視委員会 審議概要

<p>2 .平成 23 年度第 1 四半期における随意契約に関する点検についての審議</p>	<p>・ 113 番の「平成 2 3 年度広報誌「水とともに」(4 月～ 6 月号) 編集・印刷業務」はかなり安い、何か特殊な事情があるのか。</p>	<p>・ これは年契約を予定していましたが入札が不調になり、3 ヶ月分の発行ができないという事情があり、急遽、昨年の請負者と随意契約を締結しました。見積額が低いことについての理由は分かりませんが、恐らく前年並みの価格ではないかと思えます。競争をお願いする状況ではなかったということです。</p>
	<p>・ 緊急契約については、東日本大震災に関わるころははっきりしていると思うが、例えば 86 番の「河口堰調節門 1 号傾斜計復旧工事」などの震災以外の緊急契約については、定期点検等で見つかったものということか。</p>	<p>・ 本件は常時使用状態にあるゲートですが、万一のときにゲートを全開操作する必要があり、傾斜計が壊れていると操作できないということで緊急的に実施したものです。</p>
	<p>・ こういう緊急の時に、元の設備の寿命があると思うが、本件は全く予想できなかったものなのか。</p>	<p>・ 本件は震災後に通常操作しているときに見つかりました。ここは 30 年以上使っているゲートですが、50 年は保つと判断している部品のところで、恐らく震災の時には発見できなかったものが、その後の日常的な操作のなかで機能低下してしまったということです。</p>
	<p>・ 委員からの意見等を今後の随意契約見直しの参考にしていきたい。</p>	

問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心 1 1 番地 2

ランド・アクシス・タワー内

電話 0 4 8 - 6 0 0 - 6 5 0 0

水資源機構契約監視委員会事務局

財務部契約課長

小島 隆 (内線 2251)

技術管理室技術調査課長

長井 剛彦 (内線 4631)